

学校プロフィール

学校名(鈴鹿市立箕田小学校)

【平成 23 年 4 月】

1. 目指す学校像について

項目	内容
(1) 目指す学校像	児童, 保護者, 地域から信頼される活気のある学校
(2) ありたい姿(実現したい学校の状態) 今の学校が「目指す学校像」に向かうため、「こうでありたい」と考えている具体的な学校の状態や目標について、記入してください。	①確かな学力を身につけるため、客観的なデータをもとに指導の重点化を図り、指導方法を工夫、改善する。 ②学校ボランティアを活用し、少人数指導や読み聞かせ等を充実させる。 ③すべての子が学校、家庭、地域で自ら進んであいさつができるようにする。 ④学校行事や縦割り班活動を通して、一人ひとりの子どもが大切にされる仲間づくりに取り組む。 ⑤学校の課題や問題を全職員が共有し、その対応に当たる。

2. 現状の認識について

(1) 「価値」を提供する相手方		
① 相手方の区分	②現在の要求・期待	
児童	①よくわかる授業 ②今日も来てよかったと思える学校	
保護者	①確かな学力の定着 ②安全・安心な学校	
地域住民	①学校情報の公開 ②地域行事への参画	
(2) パートナー		
①パートナーの区分	②パートナーからの要望・期待	③パートナーへの要望・期待
保護者	学力の保障と子どもの健全育成	学校教育活動への理解と協力
地域住民	子どもの健全育成と地域への貢献	学校教育活動への支援と協力
中学校区の幼小中学校	生徒指導, 特別支援に関わる連携強化	途切れのない教育活動の展開
教育委員会, 関係機関	保護者, 地域との強い信頼関係	施設, 設備など環境面の支援
(3) 組織の現状 「ありたい姿」の実現に向けて、現在、認識している学校の状態や学校を取り巻く環境について、記入してください。	①「学びのネットワーク」推進に向けて、学校ボランティアへの登録も年々増えつつある。「安全安心のネットワーク」の推進では、登下校時に地域の老人会とPTAによる自主的な見守り活動を実施しているなど、保護者、地域とも学校に協力的である。 ②集合住宅が増加し、校区に親戚のない孤立した家庭が増えてきている。そのため、親同士のつながりや連携が薄くなりつつある。	

3. 目指す学校像実現のための重要な視点(方針)について

(1) 重点化に向けた視点 「ありたい姿」の実現に向けた学校の重点取組を導き出すための、学校経営における重要な視点や方針を記入してください。	①CRTなど客観的なデータをもとに、指導の重点化を図るとともに、学習内容や指導方法を工夫する。 ②全員が研究授業を行い、研修を深めるなど授業力、指導力の向上を図る。 ③健全な心と健康な身体を育成する。 ④一人ひとりの子どもが大切にされる仲間づくりの取り組む。 ⑤課題や問題を全職員が共有し、その対応に当たる。 ⑥改善に生きる学校評価の実施
(2) 上記の背景・理由 「重点化に向けた視点」に記入された内容を重視している背景や理由について、記入してください。	①確かな学力を保障するためには、客観的なデータをもとに強み弱みを把握し、全校で共通した取り組みと学年の実態にあわせた取り組みが必要であるとともに、授業力の向上を図る研修を行い、日常の授業に生かせる力をつけたい。 ②子どもの健全育成のためには、保護者や地域との深い連携が不可欠であり、鈴鹿型コミュニティースクールの取り組みを通して、めざす学校像、めざす子ども像の実現を図りたい。